



今年度、魚沼市に障害者基幹相談支援センターが開設され、「障害者サービス」をテーマとした地域連絡会を2回開催しました。第2回(1/19)でお寄せいただいたご意見やグループワーク内容について、皆様に報告いたします。

アンケート結果

- ・障害者施設の利用者や家族の高齢化が課題になっているのでタイムリーな内容だった。
- ・高齢福祉と障害福祉の違いと連携について学ぶ機会となり勉強になった。
- ・介護・福祉分野の現状やサービス等について聞くことができ勉強になった。
- ・高齢福祉制度と介護保険制度の双方をよく理解し、その2つを繋げる仕組み作りが重要と感じた。
- ・お互い顔の見える場で、意見交換ができ障害分野の理解が深められた。
- ・お互いの分野と連携の場を作ってほしい。
- ・事例に直接関わった職員がいたので、より詳細を聞くことができ参考になった。
- ・多数事例があって参考になったが、事例を絞り多くのグループから多角的に考えてもらってもよいと感じた。
- ・障害についてあまり考える機会がなかったため、多職種で話し合える機会ができてありがたかった。
 - ・事例を通して現状の問題点、情報共有の方法等、考える良い機会になった。
 - ・障害・介護お互いの制度やサービスについての理解が不十分であり、検討にまでなかなか至らなかった。制度について学ぶ勉強会などがあればよい。
 - ・意思決定について、障害者版のガイドラインについて知らなかったので確認する必要がある。



A

グループ

★障害と介護の併用

- ・介護保険と障害サービスを両方使えるため、介護保険だけを使うよりサービスが入れられて不平等かなと思う。
- ・GH 入所者も高齢化が進んでおり、介護保険と併用しているケースもある。
- ・併用している方は CM と障害担当がついている。
- ・CM と障害担当が互いを理解し連携することが必要。

B

グループ

★障害から介護への移行

- ・障害サービスから介護保険に移行するとなると金銭面の負担が変わってくるため、説明が必要ではないか。
- ・高齢と障害との間での情報共有が大切。
- ・どの施設もマンパワー不足等がある。
- ・障害の方は市外の方も多いため支援も難しい。(連携等)

C

グループ

★障害から介護への移行

- ・障害ケースをあまり持ったことがない。(障害と介護の併用ケースはあるが、完全移行はまだ少ない)
- ・CM と障害相談員で持っている知識が違うため、情報共有が必要。(サービスがどの程度入れるか、どちらのサービスを使用するか等)
- ・障害者の理解を深めることが必要。(必要なサービスの種類、制度)
- ・本人の意向を確認しながら支援を進めていく事が必要。

D

グループ

★障害者施設から介護施設へ

- ・障害者施設から介護保険施設へ入所する仕組みが分かりにくい。
- ・特養に入所するには手続きが多いため、行政・障害施設・相談支援センター・特養等がうまく連携することが必要。
- ・今後障害者も高齢化していき、障害施設から特養へ行くケースも増えてくると思う。
- ・金銭面の負担が変わってくるので説明が必要。



E

グループ

★障害者サービスの継続

- ・障害から高齢へのつなぎとして包括が窓口となって助かった。
- ・支援者がたくさんいることは様々な視点が入り、サービス等を検討しやすい。
- ・一人暮らしだと必要なサービス導入・変更の見極めが難しい。
- ・緊急時の対応の検討が必要。
- ・障害の方も米ねっとや Team に登録できると情報共有がしやすい。

F

グループ

★障害者施設→入院→障害者施設

- ・障害者施設から障害者施設に移ることはなかなか難しい。
- ・障害者の方の支援で悩むこととしては窓口をどこにすればよいか迷う。※窓口が決まっているとよい。
- ・各担当が気軽に相談出来る環境作りが出来るとよい。

G

グループ

★障害者施設→入院→障害者施設

- ・障害者の方の意思決定が難しいため、意思決定を支援できるような仕組み等があれば良い。
- ・80 (親)・50 (子) 問題にどう対応していくか。
- ・医療行為が出来る施設が少なく、受け皿が少ない。

魚沼市障害者基幹相談支援センターの館川さん、
丸山さんより講評をいただきました。

- ・障害から介護の分野の移行については、障害者分野からも課題があると考えている。連携の必要については強く感じている。
- ・障害支援センターが4月からスタートし、市の支援体制作りを慎重に行っていかなければと考えている。連携の取り方、相互理解、グループワークの発表からも多く出ていたので障害支援センターでも高齢者分野の方との連携のありかたをどうしていくのか、理解を深めるきっかけ作りとして勉強会等、考えていきたい。意思決定支援についても障害分析のガイドラインもあるので支援の立場に立つ方も理解を深めていかなければいけない。
- ・介護分野と比べると障害分野は金銭的な負担がだいぶ優遇されていると感じる。障害から介護への移行というときに金銭的に高くなり負担が大きいの話も聞かせて頂いたので、今後は市とも考えていかなければならない。
- ・障害者が高齢化しても元気で障害施設を利用できるのはよいが、若い障害者が利用できないという課題がある。さらに障害から介護への移行が今後増えてくる。魚沼市には障害施設と介護施設を持っている法人がないため、各分野との協力、連携が大切。顔が見える中での協力、連携を行っていきけるよう、勉強会等を行っていきたい。
- ・南魚沼市の取り組み（64歳になった方の訪問）については、魚沼市でも導入を検討し、行っていただけたらよいと思う。



林



細貝



滝沢



森山



橘



涌井



武沢



諸橋

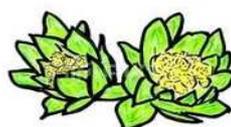


塩野谷

～後記～

今年度も小出病院地域連携室の活動にご協力いただきましてありがとうございました。

院内外での多職種連携について学びを深め、日々の活動に活かしていきたいと思えます。



魚沼市立小出病院

地域医療連携室

TEL:025-792-2111(代表)

FAX:025-793-7069(直通)